

情報通信月間参加行事 行事報告書

行事コード	Cc19M	行事名	「こどもたちを守るために」～携帯をあたえる前に～	
日時	6月9日(土)、10日(日)		場所	栃木県下都賀郡藤岡町渡良瀬運動公園
展示会等会場来場者数	8000		実施結果に対する感想・反省等	<p>当会の前身の時代から、情報化に必要性を感じない人々にどうやって訴えかけていくか、ということテーマにしています。一番知ってもらわなければならないのは、こういったタイトルの意味が理解できない人々だからです。たとえば「子どもが携帯電話を使うことで危険に遭わないための方法を学ぶ」ことを目的としたとしても、それをそのまま銘打っても、こういった人々に響かせることはできません。過去2年間、県民の日のイベントへに出展してきたのは、そういう試行錯誤の結果、このような別テーマのイベントに参加してきた人々に偶然触れてもらうためです。</p> <p>そのために、メインテーマを隠し、「子どもを守るための位置情報端末としての携帯電話」という割合身近なテーマで興味を引き、豊富な資料やノベルティで取り込み、資料の持ち帰りに結びつける形で展開しました。しかし、昨年以上の悪天候にたたられ、初日は午前中こそ曇ったものの、午後は雨、2日目は開場前から雷鳴とどろき、前が見えないほどの豪雨で、河川敷の会場は5cmほど冠水して湖のようになり、雷警報が発令され、午前中で中止という憂き目に遭ってしまいました。</p> <p>そんな状況の中でも、「難しくわからないから、自分には関係ない」と触れる機会が少ない子どもを守るためのICT技術に関する資料を悪天候の中、多数配布しました。</p> <p>昨年の日光だいや川公園に比べ、都心に近く、東京に通動している住民も多いのか、全体的にリテラシーは高かったように思いますが、一方で、そうでない人と格差はより大きいように感じられました。</p> <p>根本的なテーマは、「意識がない人々にどうやって訴えかけるか」なのでそういった環境に作用されることなく、効果を挙げられるような企画の工夫をさらに進めていきたいと思っています。</p>
講演会等参加人数				
Webアクセス数				
主催団体	栃木県 (企画運営:特定非営利活動法人e-とちぎ)			
実施行事概要	<p>保護者が子どもを守るために、携帯電話を持たせることが普通になりつつあります。また、さまざまな刺激をもつインターネットは、親がちょっと使っていれば、感受性豊かな子どもたちはすぐにそれを真似して自由自在に使いこなしてしまいます。しかし、一方で、保護者が携帯電話の機能やサービス、インターネットのコンテンツを十分把握していないため、防犯のためと不用意に渡した携帯電話や遊び道具の一つとして与えたパソコンで、新たな危険にさらされてしまうケースが急増しているのが現状です。</p> <p>昨年に引き続き、各社の防犯機能付き携帯電話を実機を交えて比較検討できる展示と、保護者が子どもに携帯電話やパソコンを使わせる前に知っておきたい、ちょっとした工夫やサービスを紹介するとともに、子どもたちがそうとは知らずに遭遇するインターネット上の危険や、「ネットいじめ」の実態について、実例を含めたパネルで解説し、保護者の疑問や質問にお答えしました。</p>			

